

**平成31年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（後期）**

試験区分	<ul style="list-style-type: none"> ■ 一般入試 ■ 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<ul style="list-style-type: none"> ■ 専門試験（ 地域科学 ） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>問1</p> <p>本設問は、地域社会学分野から2問、社会生態学分野から2問、人文地理学分野から2問を出題しており、各分野の基礎概念を用いて専門的な議論を行う能力や、専門的な知識を現実問題に応用する能力を見る。</p> <p>問2</p> <p>本設問は、社会生態学、地域社会学、人文地理学、地誌学などに関する基礎的な専門用語の理解度を確かめ、指定された文字数で専門的な見地から明確に記述する能力を見る。</p>

平成31年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（後期）
（専門試験） 地域科学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 4枚を配付する。

問1は、小問1問につき解答用紙1枚を使用すること。問2は、小問5問で解答用紙2枚を使用すること。なお、選択した小問の番号を解答用紙に記すこと。また、各問では図を用いて説明を行ってもよい。

問1 下記の設問から2つを選択して解答せよ。

1. 具体的な地域を想定したうえで、GISを用いた地域調査の方法を説明せよ。
2. 自然エネルギーの活用におけるメリットとデメリットを整理し、普及のために必要な対応について論述せよ。
3. 土砂災害地域の被害を、航空写真と衛星画像で分析する場合、それぞれどのようなメリットとデメリットがあるかを述べよ。また、それぞれのデメリットを補うための手法についても説明せよ。
4. 地域社会の環境問題を社会科学的に研究する場合、「価値」「歴史」「合意」といったものが重要になることが多い。なぜそれらが重要なのか、また、研究上それらをどのように扱えばよいのか、何らかの事例を想定しながら、論述せよ。
5. 野生生物研究におけるシティズンサイエンスの貢献可能性について、具体例をもとに論述せよ。
6. 農村地域において、ある開発計画をめぐる地域の人たちの意思決定のあり方について調べたい。どのような点に留意しつつ、いかなる視点・方法で、どのようなデータを集め、どう分析すればよいか、考えるところを述べよ。

問2 次の用語から5つを選択し、専門的な見地からそれぞれ200字程度で説明せよ。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| 1. Maxentモデル | 8. 理論的サンプリング(質的調査における) |
| 2. 市場占有率 | 9. 特別天然記念物 |
| 3. 科学知と生活知 | 10. 環境ガバナンス |
| 4. 新自由主義 | 11. ペリット |
| 5. ローレンツ曲線 | 12. 地代負担力 |
| 6. 被害の潜在化(環境社会学における) | 13. ライトセンサス法 |
| 7. プレーリー | 14. コーンベルト |